

ぶかいさぎょうち一む ちいきいこう ぎじょうし がつ  
部会作業チーム（地域移行） 議事要旨（2月）

1. 日時：平成23年2月15日（火）14:25～17:00

2. 場所：厚生労働省低層棟2階講堂

3. 出席者

おおくぼざちょう みたふくざちょう いざわいいん かわさきいいん しみずいいん なかはらいいん  
大久保座長、三田副座長、伊澤委員、河崎委員、清水委員、中原委員、  
やまもといいいん  
山本委員

4. 議事要旨

ちいきいこう なに  
【地域移行とは何か】

ちいきいこう なに かんが たんじゆん しせつ ちいき うつ いめーじ  
・地域移行とは何を考えるのか。単純に施設から地域に移るイメージではなく、  
しょうがい ひと ちいき じりつ せいかつ じつげん とくてい  
障害のある人が地域で自立して生活していくこと実現すべき。また、特定の  
せいかつようしき なに さ ほうていか いみ みな とら かた ちが  
生活様式が何を指すのか。さらに法定化の意味について、皆の捉え方が違う。  
ほうていか にゆうしょしせつ ていいんげん せいしんびょうしょう びょうしょうげん にゆういん にゆうしょ きせい  
法定化には入所施設の定員減、精神病床の病床減、入院・入所の規制、  
にゆういん にゆうしょしゃ ちいきいこうしゃすう さまざま かだい ないよう はい  
入院・入所者の地域移行者数など様々な課題となる内容が入っている。

ちいきいこう ひと そんざいかち やくわり ちいき なか は いちづ  
・地域移行は、その人の存在価値、役割を地域の中で果たせるよう位置付けること  
ひつよう  
が必要。

げんじょう せいしんしょうがいしゃ たいいんそくしんしえん ねっしん ちいき  
・現状の精神障害者の退院促進支援は、熱心にやっているところでも地域の  
しゃかいしげん たいいん せいしんほけんふくし はんちゆう ちいき かつどう  
社会資源がないため、退院しても精神保健福祉の範疇にいて地域の活動に  
さんか やく  
参加している訳ではない。

しょうがい ひと みずか のぞ く ちいきいこう ひと ようそ  
・障害のある人が、自ら望んだ暮らしをすることが地域移行の一つの要素であり、  
とくてい ようしき  
特定の様式にとらわれないということではないか。

- ・医療が必要という人は存在するため、医療は不要であるという観点で進めるべきではない。また、特定の生活様式を義務づけず、本人の意志、希望や選択を無視した押しつけであってはいけない。そこを保障するには、自己選択・決定ができる環境作り、選択できるメニューを準備することが必要。
- ・さらに法定化の話だが、社会資源の整備を充実させるための財源・施策こそ先に行うべきではないか。資源整備は、地域だけでなく、病院や施設においても同様。

- ・入院・入所者の高齢化が進んでおり、地域移行は待たなしの問題であるため、緊急措置、緊急立法が必要。

- ・地域に資源がないため入所している中で、法定化する際に施設追い出し政策ならず、本人が地域で安心して主体的に生きていけるよう、地域での基盤整備を量的・質的にも優先していくべきである。グループホームを一つ作るにも地域で多くの反対がある。地域で孤立しては何のために地域移行したのかわからない。

- ・最近、基盤整備と謳っているが、その中身が障害者本人の望んでいるものか疑問を持っている。基盤整備をするには、細かい選択肢が必要。

- ・何故、地域移行をさせるのか、まずその意義を出して行かねばならない。障害者が地域で自立して暮らすことをどう伝えていくか。

- ・障害を持っている人が地域で暮らす権利を地域住民に理解してもらう。法制化の中でしっかり定義すべき。

- ・地域住民の反対運動に対する地域住民との調整について、何らかの手段で行政の責任で実施することを義務づけるべき。

- ・精神の場合は、まず国が、隔離収容が間違っていたと謝罪すべきである。それがないと内閣府や厚労省が啓発・啓蒙しても誰も信じられない。

きばんせいび じゅうよう けんりようごしすてむ なに お きょうぎちようせい  
・基盤整備で重要なのは、権利擁護システムである。何か起きれば協議調整する  
しく ひつよう げんじつ もんだい にゅうしょしせつ たいしょ かた  
仕組みが必要である。また、現実の問題として、入所施設から退所される方が  
いっぽう ぐるーぷほーむ ざいたく く かた こうれいかとう せいかつ  
いる一方で、グループホームや在宅で暮らしていた方が高齢化等により生活で  
きなくなり、入所する方がいるが、安心・安全が現在のサービス基盤の中で  
けつらく  
欠落している。

ほんにんちゅうしん しえん こうちく しんき しせつ にゅうしょ  
・本人中心の支援を構築しなくてはならない。新規に施設に入所することを  
せいげん きそん にゅうしょしせつ かた てんかん ちいき しげん ほんにん  
制限し、既存の入所施設のあり方を転換していくべき。地域の資源を本人  
ちゅうしん つく あ ざいげん とうにゅう かくご ひつよう  
中心に作り上げ、財源を投入していく覚悟が必要。

あら にゅうしょ かんが ひつよう しんきにゅうしょ せいげん  
・なぜ新たに入所してくるのかを考える必要がある。新規入所を制限するのでは  
ちいききばんせいび ざいげん とうにゅう じゅうよう  
なく、地域基盤整備にしっかりと財源を投入することが重要。

せいしんいりよう まった どうよう  
・精神医療も全く同様。

かぎ ざいげん いちじてき ちいききばんせいび しふと にゅうしょしせつ  
・限られた財源を一時的に地域基盤整備にシフトすべきであり、また入所施設も  
ちいききばん ひと  
地域基盤の一つ。

たいいんしえん しすてむ か いりよう しつ たか ひつよう  
・退院支援のシステムを変えなくてはならない。また、医療の質を高める必要があ  
ちいきいこう じゅうじつ ちいき せいかつ ささ いっぽう いりよう しつ たか  
る。地域移行を充実させて地域で生活を支える一方、医療の質を高めるた  
めたくさんの財源を投入することが必要。これらは両方進めていくべき。

せいしんか にゅういん ばあい しんきにゅういん ばあい じゅんすい いりようてき  
・精神科の入院の場合も新規入院の場合、純粹に医療的というよりも  
しゃかいてきよういん かんが え げんざい しゃかいてきにゅういん  
社会的要因を考えざるを得ないのではないか。現在の社会的入院という  
がいねん まちが いりようがわ にゅういんちりよう おこな いりよう なに  
概念は間違っている。医療側は、入院治療で行う医療とは何であるのかを  
めいかく ちいきいこう ぜんこく いっせい もでるじぎょうてき  
明確にすべき。地域移行については、全国で一斉にやるよりもモデル事業的  
ちほうじちたい と く  
地方自治体が取り組むことができないだろうか。

とくてい せいかつようしき せいしんかびょういん しせつ  
・ 特定の生活様式というのは精神科病院あるいは施設のことなのか。

とくてい せいかつようしき いこーる せいしんかびょういん しせつ とら かた ほ  
・ 特定の生活様式イコール精神科病院あるいは施設、という捉え方はして欲しくない。

とくてい せいかつようしき せんび むずか  
・ 特定の生活様式というのは、どこからどこまでなのかと線引きすることが難しい。  
ひと じゅうどく かくほ じゅうよう とくてい  
どこにいてもその人の自由度や暮らしやすさが確保されることが重要。あまり特定の  
せいかつようしき き  
生活様式が決めつけられるのはよくない。

ほんにん じゅうぶん なつとく とくてい せいかつようしき  
・ 本人が十分納得していたならば、それは特定の生活様式となるのか。

ほんにん なつとく けんりようごしゃ かぎ しえんしゃ と かこ  
・ 本人が納得しているというが、権利擁護者がいない限り支援者に取り囲まれ  
りようしゃ じこけつてい い  
ば、利用者は自己決定していると言われる。

ほんにんちゅうしん かんが べすと けっかてき ちいきせいかつ  
・ 本人中心に考えることがベストであり、そうすることで結果的に地域生活がう  
まくいくのではないか。①権利擁護を含めた広い意味での地域基盤整備、②どのよう  
けんりようご ふく ひろ いみ ちいききばんせいび  
ないよう ちいききばんせいび ひつよう いじょう てん めいかくか ちいきいこう  
な内容の地域基盤整備が必要なのか、以上の2点が明確化されれば、地域移行  
かん ぐたいてき さーびす いこうぷろぐらむ けんとう  
に関する具体的なサービスや移行プログラムも検討されるのではないか。

きそん ろんてん つか き ほうせいか ことば はず  
・ 既存の論点E-1-1) からE-1-6) は使えない気がする。しかし、法制化という言葉は外  
ちいきいこう ほうりつ も こ ぎろん  
せないののでどうやって地域移行を法律に盛り込んでいくか議論したい。

ほう りねん さぎょうちーむ ちいきいこう すす しんぼう ひつよう  
・ 「法と理念」作業チームにおいては、地域移行を進めるためには新法が必要で、  
じげんりっぼう はなし ちいきいこう いちじてき たかく かね  
時限立法でという話になっている。地域移行については一時的に多額のお金が  
ひつよう こんきょ じげんりっぼう とくべつりっぼう ひつよう  
必要なので、根拠となる時限立法または特別立法が必要。

ちいきいこう かん すうちもくひょう  
【地域移行に関する数値目標について】

おおさか ばあい せいしんほけんふくしりょうさくせい まいとしおこな がつ にちじてん  
・ 大阪の場合、精神保健福祉資料作成のために毎年行う6月30日時点に

かん ちょうさ とき かた ちいきいこう ちいき  
関する調査の時にどれだけの方が地域移行できているかわかる。地域によって  
じったいはあく ほうほう ちが ぶぶん  
実態把握の方法が違う部分はある。

ちいきいこうけいかく ぐたいてき すうじ あ さくてい くりあ  
・地域移行計画は具体的な数字を挙げて策定しているが、クリアしているところは  
すく すす ぎむか もくひょうち さだ  
少ない。それを進めるために、義務化にあたっては、目標値を定めていくべき。

じちたい そち きょうせいにゆういん ひと もの ちいき もど  
・自治体が措置などで強制入院させた人がいる。そのような者をしっかり地域に戻す  
けいかく た ふく ぎむか ひつよう  
計画を立てるべきであり、そういうことも含め、義務化が必要ではないか。

ねんいじょう にゆういんれき まんにん たーげっと しゅうちゅうてき ぷろじえくとおよ  
・20年以上の入院歴4万人をターゲットとして、集中的なプロジェクト及び  
じげんりっぽうとう とくべつ ほうりつ ひつよう  
時限立法等、特別の法律が必要ではないか。

そうごうふくしほう なか いち いわかん おぼ  
・総合福祉法の中に、そのようなものを位置づけるのは違和感を覚える。

#### ちいききばんせいび 【地域基盤整備について】

ちいき さーびす な びょういん こみゆにてい もど ほうさく う だ  
・地域でサービスがなくて、病院のコミュニティーにまた戻らないための方策を打ち出  
さいといけな。ちいきいこう ほうこうせい みないろん  
さないといけない。地域移行という方向性には皆異論はないのだから。

ほんにん す す ひつよう さーびす ようい  
・本人が住みたいところに住めるよう、必要なサービスが用意されるべき。

てもと かね のこ たいいんご せいかつ まちなか たいけん おも  
・手元にお金が残らないため、退院後の生活を町中で体験しようと思ってもで  
きない。にゆういんちゅう いどうかいご つか へるば かお  
入院中から移動介護が使えたり、ヘルパーと顔なじみになっていることは  
じゅうよう  
重要。

しえんしゃがわ ちいきいこうぶるぐらむ ひつよう  
・支援者側の地域移行プログラムが必要ではないか。

びょういん にゆういんちゅうしん いりょう ちいき なか せいしんしょうがいしゃ ささ かか  
・病院そのものが入院中心の医療から地域の中で精神障害者を支え、関わ  
りを持っていくという医療へ転換していくのがキーワード。

ぎろん くに のこ ふ いさん  
・ここで議論すべきは国が残した負の遺産ではないのか。

たし やまもといいん い とお にゅういん ねんいない ひと ちょうきにゅういんしゃ  
・確かに山本委員の言う通りだが、入院1年以内の人たちと、長期入院者は  
わ かんが  
分けて考えないといけない。

たいいんしえん ぴあかつどう ふく じっせん  
・退院支援はピア活動を含めて実践していくものである。

ぴあ へるば どうよう かんが ちいき ま か びょういん  
・ピアもヘルパーも同様に考えている。地域は待っていても変わらないので、病院や  
しせつ おーぶん あたら かぜ い ちいき と こ とく じゅうよう  
施設をオープンにして新しい風を入れながら、地域に溶け込んでいく取り組みは重要。

にゅうしょしせつ びょういん やくわり  
【入所施設・病院の役割について】

ちてき しせつていいん なかはらいいん けんかいいかん  
・知的の施設定員について、中原委員の見解如何。

しせつ しせつ やくわり ちいきいこう ばらいろ いめーじ ほんにん  
・施設には施設の役割がある。地域移行というバラ色のイメージがあるが、本人が  
ちいき い せいかつひ ひつよう ちいきいこう せつと しょとくほしょう かんが  
地域で生きていく生活費が必要。地域移行とセットで所得保障を考え、  
けいざいてき きばん ととの かぎ にゅうしょしせつ ちいききばん ひと ひつよう  
経済的な基盤が整わない限り、入所施設は地域基盤の一つとして必要。

せいしんしょうがいしゃ ちいきせいかつ せいかつほご な た げんじょう おお かだい  
・精神障害者の地域生活は、生活保護で成り立っている現状があり大きな課題  
である。

にゅうしょしせつ ゆうきげん ゆうもくてき せーふていねっと やくわり びょういん  
・入所施設は有期限・有目的のセーフティネットとしての役割であり、病院は  
ちりょう どうぜん ゆうきげん ゆうもくてき  
治療だから当然、有期限・有目的である。

しせつ びょういん こと ゆうきげんてき がいねん いりょう も こ こま ひと  
・施設と病院で異なるので、有期限的な概念を医療に持ち込まれると、困る人  
で  
が出てくるのではないか。

せいしんしっかん ばあい じゅうぶん たいいん た きかん せつてい  
・精神疾患のみの場合は、十分に退院に耐えうる期間を設定することができる。

ゆうきげん                      じき   く                      で                      こべつしえんけいかく   みなお  
・ 有 期限となると、時期が来ると出なければならない。個別支援計画で見直しすればよ  
ちいきいこう   しゅちょう                      ちいき   いこう                      ひと                      せーふていねっと                      しえん  
い。地域移行を主張するならば、地域に移行した人たちのセーフティネットや支援の  
かた                      だれ                      きのう                      は                      さぽーとせんた                      しせつ                      べつ  
あり方、また誰がその機能を果たすのか。サポートセンターのような、施設とは別に  
ちいき   ひと                      あんしん                      たんほ                      しく                      でき                      わたし  
地域の人たちの安心を担保する仕組みが出来なければならない。そのために、私たち  
まんばわ                      のうほう                      ていきょう                      ぎゃくていあん                      にゅうしょしせつ                      きのう                      すで  
はマンパワーもノウハウも提供すると逆提案している。入所施設の機能は既に  
せいり                      じかいしりょう                      ていしゅつ  
整理しているので、次回資料を提出する。

ちいきいこう                      もの                      ひつよう                      ざいげん                      きゅうふ                      しく  
【地域移行する者に必要な財源が給付される仕組みについて】

ちいきいこう                      かね                      そう                      ちてき                      せいしん  
・ 地域移行しようにもお金がない層は知的にも精神にもたくさんいる。

かね                      へいたん                      だ                      こうりつてき                      かぎ                      めりはり                      つ                      しく                      ひつよう  
・ お金を平坦に出すのが効率的とは限らない。メリハリを付ける仕組みは必要。  
ちいきいこう                      げんじつ                      おこな                      ひょうか                      きのう                      ぎろん  
地域移行については現実に行っていることの評価、機能について議論しなければな  
きょうつう                      ちいき                      きばん                      せいび                      よさん                      ほうていか  
らない。共通しているのは、地域での基盤を整備することを予算であろうが法定化し  
ちいき                      だ                      ぜんてい                      す                      ばしょ                      ぜんてい  
ないと地域に出せない。前提として住みたい場所が前提となる。